

なぜ、今 エシカル消費なの？

社会全体のグローバル化が進む中で、私たち消費者は、国内はもちろん世界各国から様々な商品を手に入れるできるようになりました。そんな商品を誰がどのような環境でどのように生産し、私たちが使用した後、誰がどこでどのように処分しているのか、私たちはよく知りません。私たち消費者が手にする商品の背景には、様々な社会問題をはらんでいることがあり、とりわけ開発途上国では、貧困や飢餓、児童労働や環境破壊などの問題が深刻化しています。そのような社会的背景を考え、私たち消費者は商品を購入する前に、「どんな人たちが作ったのか」「どのように作られたか」「環境や社会にやさしいか」など、様々な配慮をしながら消費行動を起こす時代になってきているのではないのでしょうか。



消費に関わる主な社会問題

地球温暖化

地球温暖化が原因と思われる集中豪雨、大型台風、干ばつなどの異常気象による災害等が世界各地で頻発しています。かけがえのない豊かな地球を未来へ引き継いでいくために、省エネや再生可能エネルギーの利用など、身近なところから地球温暖化防止への取組を始めていくことが大切です。



食品ロス

まだ食べられるのに捨てられている食べ物、「食品ロス」が日本では年間600万トン以上にも上ります。そのうちおよそ半分約300万トンが家庭から捨てられています。必要な食品を必要ときに必要な量だけ購入する、使い切る工夫をすることで、食品ロスを削減することができます。



フードマイレージ

食料輸送に伴う環境負荷を計算したものです。日本は自給自足で補えない部分を輸入に頼ることにより、国民1人当たりのフードマイレージが世界的に見ても高い数値になっています。比較的輸送費がかからない地産・地消に取り組むなど、身近なところから心掛けましょう。



途上国の貧困や児童労働

私たちが「安い」と思い買っているものの背景には、開発途上国で劣悪な労働環境・低賃金により作られたり、児童労働により生産されたりしたものもあります。そうしたことを理解し、フェアトレード商品など、生産者の生活や環境を守る商品を購入することで、不公平な社会を変えていくことができます。



エシカル消費が 世界を変える！

私たちは、商品やサービスを自ら選択し購入することができます。日本経済全体(GDP:国内総生産)の約6割が家計の支出と考えると、消費者が社会に与える影響力は決して小さいものではありません。「価格」だけでなく、エシカルな観点から商品を選ぶことで、環境、人や社会、地域にやさしい商品やサービスはさらに社会全体に広がっていきます。地元や被災地で作られたものを選ぶことも重要なエシカル消費の一つです。あなたの消費行動によって、世界の未来は少しずつ変えることができます。その一步一步が、きっと素敵な未来を作り出してくれるでしょう。



はじめよう! エシカル消費 ~消費を通じてより良い社会へ~

2015年9月の国連持続可能な開発サミットで採択された、世界中の国が共通して解決しなければならない課題を示したSDGs(エスディーゼズ)(持続可能な開発目標)。その中でも、ゴール12「持続可能な生産消費形態を確保する」は、生産から消費・廃棄までのライフサイクル全体を通して、天然資源や有害物質の利用と廃棄物や汚染物質の排出を最小限に抑えることを目指しています。「持続可能な消費」には多様な概念が含まれますが、その一つとして、「エシカル消費(倫理的消費)」が注目されています。

SDGs(エスディーゼズ)(持続可能な開発目標) 17の目標



世界を変える17の目標の目標12はエシカル消費にもつながる考え方!

「つくる責任 つかう責任」

